

ゆうたり

## 本別町の勇足小学校の児童が来市し、交流を楽しみました

本市と友好都市提携を結ぶ北海道本別町の勇足小学校の児童15名が7月20日から22日までの3日間、本市を訪れました。初日は、市役所で孫田副市長への表敬訪問が行われた後、ふれあいセンター立江で歓迎の夕べが開催され、立江小学校の児童らと一緒に阿波踊りを踊ったり、吹筒花火を鑑賞したりして、交流を楽しみました。

勇足小学校と立江小学校は、明治30年に当時の立江村の人々が北海道本別町を開拓した歴史が縁となり、平成3年に立江小学校の児童が勇足小学校を初めて訪問して以降、交流がつづけられており、両校が互いに交流し合い、今年で28回目の交流となります。



市役所を訪れた勇足小学校の児童



地元連の指導を受けながら阿波踊りを楽しむ勇足小学校の児童

## 今夏も、徳島小松島港にクルーズ客船が寄港

今年もとくしまの夏の風物詩「阿波踊り」初日の8月12日から1週間の間、徳島小松島港にクルーズ客船が連日寄港しました。8月12日には「飛鳥Ⅱ」が金磯地区に、13日には「ダイヤモンド・プリンセス」が赤石地区に、18日には「にっぽん丸」が本港地区に寄港しました。

クルーズ客船が入港した岸壁では、歓迎式典や市阿波踊り振興会所属連の阿波踊り、市創作太鼓振興協会の金長太鼓の演奏、物産展などが行われ、乗客らを歓迎しました。

また、12日には「飛鳥Ⅱ」の連続寄港25年を記念し出港前の前に行われた伝統の吹筒花火や打上花火が乗客を楽しませたほか、13日の「ダイヤモンド・プリンセス」では小松島港の外国貿易港指定70周年を記念し親子特別船内見学会が開かれ市内小学生が乗船しました。



飛鳥Ⅱの連続寄港25年を記念し行われた吹筒花火



にっぽん丸入港を歓迎する、市創作太鼓振興協会による金長太鼓の演奏